

史跡案内(米多比・薬王寺地区)

古賀史跡案内ボランティア

平成15年08月01日

I 米多比・薬王寺地区史跡めぐりコース

1. 米多比周辺

須賀神社 A → 板碑型五輪塔 B

2. 薬王寺周辺

白髭神社 C → 愛宕神社(愛宕山々上) D → 東前寺 E → 飯尾理入の墓 F

II 米多比周辺史跡

1. 須賀神社 【A】

- ① 祭神：大己貴神・素戔鳴神・稲田姫神
- ② 縁起：創建(記録見当たらない)。明治26年の記録によれば神楽が6月11日から始められている。明治33年に拝殿を改築し、その年から宇美神楽を招聘し奉納されるようになった。昭和18年に戦争中で男の数が少なくなり、以後中止となった。
- ③ 祭事：元旦祭(1月)、祇園祭(7月)、夏祭り
- ④ 絵馬：嘉永6年(1854)の牛馬図など3点
- ⑤ 境内社：貴船神社、大山祇神社、大岩神社、若宮神社、今宮神社、和多津見神社
- ⑥ 千人参り29番札所：本尊千手観音(資料)

2. 板碑型五輪塔 【B】

- ① よろい墓とも言われている。由来は不明。

III 薬王寺史跡

1. 白髭神社 【C】 (別紙)

- ① 祭神：猿田彦神・大雀天皇(仁徳天皇)・武内宿禰
- ② 縁起：もと現在地の南の社家尾の山上にあったが長元9年(1036)の天変地異により現在地に移られた。宝永7年(1710)の棟札には若八幡宮と白賀大明神の名が見える。その後白髭宮となったのであろう。

- ③ その他： 神殿は古賀市内で最も古く、阿吽の竜、蛙股の五位鷲などの彫刻は優れている。

2. 愛宕神社 【 D 】

かぐつちのかみ

- ① 祭神： 迦具土神

- ② 由来： 創立延暦 12 癸酉年(793)

⇒ 創立年は糟屋郡神社誌に記載されているが根拠はいかがであろうか。

- ③ 手水鉢： 元文元年(1736)。古老の話では手水鉢がある小高い一角が元の社殿の跡、その前の坂道が旧参道。居もあり、その神額は現在の神殿の正面に安置されている。鳥居の柱の一部が坂道の途中に放置されていた。

- ④ 社殿横の薬王寺跡に抜ける道から 100 メートル程度のところに平地があり、ここに石仏群があった。明治の廃仏棄釈の折に東前寺の後ろの高台に移った。

3. 東前寺 【 E 】 (別紙)

- ① 宗派・本尊： 宗派) 曹洞宗。本尊) 薬師如来。山号) 光明山。

- ② 縁起： 備後の武士だった賢宗意公大和尚が文保元年年(1317)に創建した。
慶長 13 年(1608)、飯尾理入が再興し天台宗から今の宗門曹洞宗に改めた。

- ③ その他： 境内の上段には八十八ヶ所石仏群がある。

4. 飯尾理入の墓 【 F 】 (資料)

飯尾理入はもと尾張の国の人で信長の部将であったが弟一直が文禄 3 年(1594)豊後国富来の城主となったので弟と共に富来城内の人となる。関が原の戦いの時黒田如水の軍門に降ったが如水から器量を見込まれ、その家臣となる。隠居後薬王寺に定住し、荒廃していた東前寺を再興、仏門に帰依した。慶長 13 年(1608)没、59 歳であった。